再造林促進奨励事業実施要領

ノースジャパン素材流通協同組合

制定　　平成 27 年７月９日
最終改正　令和８年７月 27 日

第１　目的

この要領は、人工林の森林資源の循環利用及び森林の公益的機能の維持・向上を図るため、組合員が実施する再造林を支援し、その経費の一部を助成することにより、再造林の促進に資することを目的とする。

第２　事業内容

１　組合員が人工林の伐採後に実施する再造林について、別表１に定める対象作業を実施した場合、予算の範囲内で助成金を交付する。

２　助成対象地は、北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県及び福島県に所在する植栽地であって、別表２に定める各道県の再造林基金等による助成を受けていない箇所とする。

第３　事業実施期間

助成対象となる事業は、当該年度内に地拵え及び植栽を完了したものとする。
また、地拵えのみ前年度中に完了している場合も対象とする。

第４　助成金の申請

１　助成を受けようとする組合員は、事業完了後、次に掲げる書類を理事長へ提出しなければならない。

（１）再造林促進奨励事業助成金申請書（様式第１号）
（２）添付書類（別表３のとおり）

２　申請期限は、当該年度内とする。

第５　助成金の交付

１　理事長は、提出書類の内容を審査し、助成対象として適当と認めた場合は助成金を交付する。

２　助成金額は別表４のとおりとする。

３　助成対象面積は、１組合員当たり年間１ha を上限とする。

第６　その他

１　本事業の実施に当たり、必要に応じて現地確認を行うことがある。

２　この要領に定めのない事項は、理事長が別に定める。

別表１　助成対象作業

区分	作業	内容
必須	地拵え	伐採後にグラップル等の重機を使用して実施する。落葉層及び表土は極力残し、森林土壌を保全すること。
	植栽	植栽樹種はスギ、ヒノキ、カラマツ、アカマツ又は広葉樹とする。
任意	下刈り軽労化作業	伐採前にササ等の林床植生へ茎葉処理型除草剤を散布し、伐採時又は地拵え時の刈払い作業を軽減する取組等。

※助成を受けるためには、必須作業をすべて実施すること。

別表２　各道県の再造林基金等

地域	制度名	地域	制度名
北海道	人工林資源保続支援基金	宮城県	みやぎ森林づくり助成金
青森県	青い森づくり推進基金	秋田県	あきた未来へつなぐ再造林基金
岩手県	岩手県森林再生基金	山形県	山形県森林再生基金

別表３　添付書類

書類	備考
届出書類	作業前…伐採及び伐採後の造林の計画の適合通知書または森林経営計画認定書（施業地の計画が記載された部分を併せて提出） 作業後…伐採後の造林に係る状況報告書
区域図	森林計画図、空中写真等に植栽した区域の外縁を明示した図面。縮尺は任意。
施業写真	作業前・後の写真。黒板の使用は任意。
苗木本数が分かる書類	苗木領収書等。
委託契約書	委託契約がある場合。
選択作業写真	選択作業を実施した場合、作業の様子が分かるもの。

別表４　助成金額

１．基本助成		
植栽樹種	助成額（円/ha）	
	コンテナ苗	裸苗
スギ・ヒノキ	61,000	53,000
カラマツ	55,000	42,000
アカマツ	77,000	51,000
広葉樹	－	53,000
２．加算助成		
作業内容	助成額	
除草剤散布	30,000 円/ha	
その他作業	実費（上限 30,000 円/ha）	

再造林促進奨励事業助成金 申請書

令和　　年　　月　　日

ノースジャパン素材流通協同組合
理事長　鈴木 信哉　様

組合員名　　㊞

下記の内容で作業を実施したので助成金の交付を申請します。

森林の所在地	

伐採関係	伐採樹種	
	伐採面積	ha
	伐採時期	～

地拵関係	使用重機	グラップル　/　その他（　　）
	実施時期	～

植栽関係	植栽樹種	スギ　カラマツ　アカマツ　その他（　　）
	植栽面積	ha
	植栽本数	本
	植栽時期	～

選択作業	作業内容	除草剤散布　その他（　　）
	実施時期	～

【添付書類確認欄】

届出書類等		区域図	施業写真		苗木領収書	委託契約書	選択作業写真
前	後		前	後			